

令和5年3月1日

天理大学と連携した取組み

- I. 大学のゼミによる市民（シニア世代）向け講座のサポート（財政教育プログラム関係）
- II. ちほめんの取組み紹介講座

ちほめんnews VOL. 105
近畿財務局奈良財務事務所



経緯など

- ◆ 天理大学人間学部人間関係学科において、生涯教育を専攻されておられます「杉山 晋平」准教授（以下、杉山先生と言います。）からご依頼いただきました。杉山先生とは、令和3年に財務省が実施したアンケートへのご協力をお願いするため、同大学を訪問したのがきっかけでご面識を得るに至りました。
- ◆ 杉山先生は、生涯教育の仕組みづくりを専門に取り組んでおられ、過去には当局が実施している「財政教育プログラム」の開発にも携わっていただきました。
- ◆ そうした経緯もあって「同プログラムを生涯教育に役立てられないか」や、「当局が実施している地域貢献活動を講義内で紹介いただけないか」などと当局にお話をいただきました。
- ◆ 今回は、杉山先生とゼミ生が中心となって実施した①公民館での市民（シニア世代）向け講座のサポートと、杉山先生が担当されている生涯教育の講義内で実施した②ちほめんの取組み紹介講座の2つの模様についてご紹介します。

大学のゼミによる市民向け講座



ちほめんの取組み紹介講座



I. 大学のゼミによる市民（シニア世代）向け講座のサポート （財政教育プログラム関係）

プログラムの概要 これまでのプログラム

- ◆ 「財政教育プログラム」は、社会が抱える様々な問題や理想の未来の実現に向けた課題等をテーマとして、日本の財政を通じて、グループ内で意見を出し合い、それらの解決のためにグループごとに予算を作り上げて発表するものです。
- ◆ こうした議論を通して、受益と負担の両面性（トレードオフ）を理解し、多面的な物事の見方が重要であることを実感してもらい、また、多様な意見がある中で民主主義的過程によりそれらを集約していくことの困難さ・大切さを体感してもらうことなどを当プログラムの趣旨としています。
- ◆ これまでは、主に小学生から大学生までの比較的「若い世代」の方々を対象として取り組んできましたが、当プログラムの趣旨については、世代を問わず考えていただきたい内容ということもあり、天理大学と連携して、今回、市民（シニア世代）の方々に行っていただきました。
- ◆ また、今回は大学との連携ということで、学生にもグループワークを補助するアドバイザーとしてご活躍いただきました。

グループワークの様子



- ◆ 最初に、杉山先生から基調講義が行われました。「乗り越えていかねばならない課題はどんどん増えていく一方で、課題解決のために利用できる資源については、限界がある。トレードオフということを考えながら課題解決に向けて考えていくことが大切である」等の講義をいただき、議論のための認識を共有しました。
- ◆ 現状の日本が抱える様々な課題に対して、各グループでは、時間が足りなくなる程に活発な議論が繰り広げられました。皆様が、それぞれの意見を出し合いながら、より良い社会を実現していくために、真剣に取り組んでくださいました。
- ◆ 今回、予想をはるかに上回る活発な議論となり、会場は大いに盛り上がりました。今後のシニア世代の方々を対象としたプログラムの実施に期待が膨らむ内容となりました。

II. ちほめんの取組み紹介講座

講座の概要

- ◆ 本講座は、杉山先生が実施しておられる連続講義の1コマをいただいて実施したものです。
- ◆ 当局がこれまでに取り組んできた「ちほめん活動」について、その具体的な内容をご紹介した上で、学生の皆さんにも当局と一緒にやってみたいコラボ企画についてアイデアを出してもらいました。学生の皆さんには、天理大学が持つ強みを考えてもらい、それを活かした企画となるよう柔軟な発想でご検討いただきました。
- ◆ 学生の皆さんからは「天理の商店街の活性化」、「天理市内や奈良県内の企業を学生に紹介」「天理大学の強みであるスポーツを活用した企画」など、発想豊かな様々な企画が紹介されました。

講座の様子



おわりに

- ◆ 本講座終了後、学生の皆さんから「人との繋がりの大切さを感じた」、「財務局という名前からは想像できない活動をされていて驚いた」など、たくさんの嬉しいご感想をいただきました。
- ◆ 奈良財務事務所では、今後も、地方創生・地域活性化のために、大学や学生の皆様をはじめ、各関係機関と連携・協力して、地域の方々に喜んでもらえる取組みを実施して参ります。